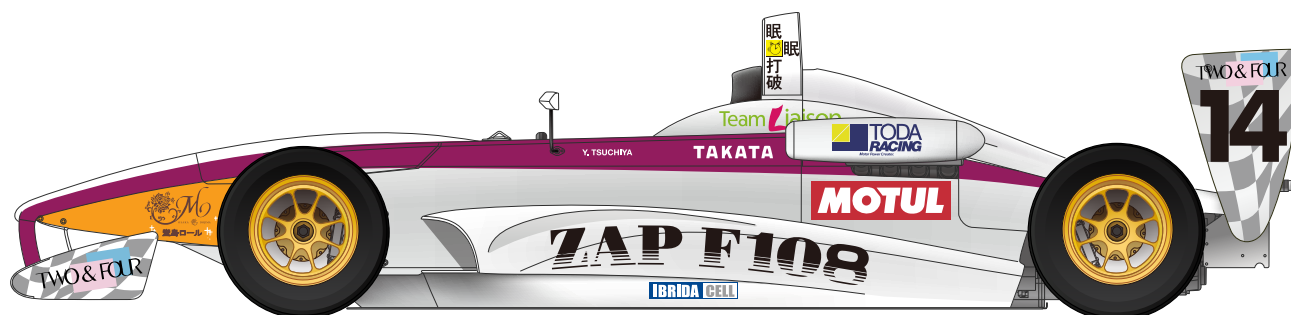




ZAP F108 Debut Win

初戦を勝利で飾る



TAKATA



MOTUL



眠
の
打
破

IBRIDA CELL



ZAP SPEED®

東京都豊島区南池袋 3-18-35
OKビル 1F TEL:03-3989-8890
sion@zap-speed.com



この度、ZAP SPEED F4マシン「ZAP F108」は鈴鹿サーキットで行われた、インターナショナルポッカGTサマースペシャル「西日本F4選手権シリーズ第5戦」にてチーム発足以来最初のレースを戦い、優勝という結果を修めることが出来ました。

チーム・リエゾン発足から約1ヶ月。8月2日に岡山でシェイクダウンをして20日間。その間数々の初期トラブルと、もてぎテストでのクラッシュと多難な状況でしたが、Team Liaisonの全員で乗り切り勝利に結びつける事が出来ました。

この開幕戦までの模様をレポートさせていただきます。

8月2日 岡山国際サーキット

Team Liaison ZAP F108 シェイクダウン

この日初めてF108がサーキットを走りました。前日2&4様のイベントでお披露目された後で岡山に入りました。真夏の猛暑の中走り始めますが、ギアのトラブルで直ぐにピットイン。修復後数周で再度ピットイン。エンジニアの内間が幾つかのセッティング変更をし車の特性を掴んで行きます。午後フロントのサスペンショントラブルで予定より早く走行を切り上げる事となりました。



8月3日 岡山国際サーキット

岡山テスト2日目

昨日修復したフロントサスペンションに不具合が出て再度修復。

午後に走行を再開しましたが冷却水の配管の問題で僅かな水漏れを確認。

この日のテストを中止しました。





8月12日 ツインリンクもてぎ

二回目のテストはツインリンクもてぎで行われました。

前回岡山と同様、各部のトラブルチェックが先ずは優先されましたが、タイムは終始良い。ドライバーのコメントでトラックセットが行われましたが、セッティングに素直に反応しマシンの素性の良さを伺わせます。



しかし、セッション2で数ラップした後3コーナーでクラッシュ。

組み付け時の取り回しが原因となるブレーキラインのトラブルが発生。ほぼノーブレーキでコースアウトしマシンは大破。ドライバーもメディカルセンターから病院へ運ばれ検査の為入院となりました。



UOVA4 カーボンモノコックは頑強で一見モノコックそのものは無傷の様でしたが、念の為に製造元の童夢さんに持って行き検査を受けることとなりました。

頑強なモノコックに対しストラクチャーが弱いためドライバーのダメージが心配でした。



JMIA のサイトに詳しい情報が出ています。
<http://www.jmia.jp/news/ns100816.html>



迫るデビュー戦

ドライバー土屋祐輔のシートベルトの跡は衝撃の強さを物語っていました。衝撃を強く受けながらも TAKATA 社のシートベルトによって最小限のダメージで救われました。「絶対に初戦を乗りたい」という土屋に「乗りたいければ一言も痛いと言えな。痛いと言ったら立場上乗せられなくなる。」痣を見れば痛くないわけもないが、長いこと資金難でレースを遠ざかっていた土屋には絶対に掴まなくては後がないチャンスでした。



TAKATA

修復

F108 担当メカニック達は 15 日に筑波ガレージを出て渋滞の中米原の童夢さんの工場にモノコックを引き取りに行きました。一度筑波に帰って組み立てる時間が無いので童夢さんの工場の一角をお借りして組み立てます。この際に各部の変更なども行いました。



ZAP SPEED®

東京都豊島区南池袋 3-18-35
OKビル 1F TEL:03-3989-8890
sion@zap-speed.com



ギリギリの日程

マシンは修復を終えて米原から鈴鹿へ向かい、内間はF3のテストの為に富士スピードウェイから、土屋と笹川はヘルメットを受け取るために大宮のアライヘルメットさんを経由して鈴鹿へ向かいます。

ギリギリの日程で鈴鹿のデビュー戦を迎えました。



8月19日

やっとという思いで走行となる。

この日はシフトケーブルのトラブルで周回が少ないまま終わりました。少ない周回ながら3番手あたりのタイムが出ています。見た目がこれまでのバッテリーの1/3位の大きさのイブリダセルの電圧の低下などが心配されていましたが全く問題ありませんでした。

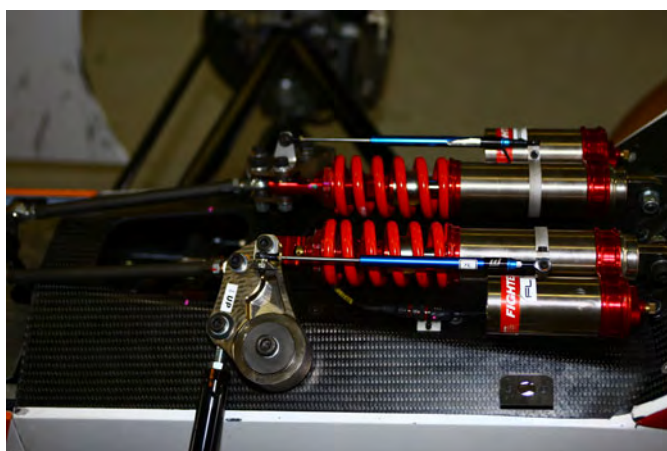


IBRIDA CELL

8月20日

次はアクセルワイヤーのトラブルです。またもトラブル対策で周回数が少ない。しかし、流石にもう全て出尽くしただろうと思います。

明日の予選に向けて色々試したい事がありましたが、今日までに得られたデータを元に内間が予選のセットを想定して行きます。



TODA RACING FIGHTEX F4 Damper

ZAP SPEED®

東京都豊島区南池袋 3-18-35
OKビル 1F TEL:03-3989-8890
sion@zap-speed.com



予選

これまでトラブルが続いた為に、十分なセッティングの時間が無かった。まだまだ試したい事はあったが冒険は出来ません。

その余裕の無さか早めにコースインしタイム差のある車に引っかかってしまい予定よりも一周多くを費やす。結果予選2位。

悔しい結果となりました。

計測器を付けての走行で最高速が伸びているというデータが取れました。



MOTUL

決勝

幾多の困難を乗り越えやっと決勝のグリッドに着く事が出来ました。

この日、眠眠打破様のステッカーが増えたからには、目の覚めるような活躍を見せなくてはなりません。

決勝はドライバー頼み。決勝向けのセットにして土屋祐輔に全てを託します。



眠
眠
打
破

ホールショット

遂にスタートの瞬間を迎えました。

スタートを得意としている土屋は絶妙なスタートを決め先頭で1コーナーに入っていきます。その後も安定したタイムでレースを終始リード。終盤も他車よりもタイムの落ち込みが少なく、大きくリードを広げて行きます。



ZAP SPEED®

東京都豊島区南池袋 3-18-35
OKビル 1F TEL:03-3989-8890
sion@zap-speed.com



ゴール

終始安定したタイムで後続との差を広げ、終盤には独走チェッカーを受けました。全く危なげない堂々の優勝です。更にファステストラップも記録し、ZAP F108 の初戦を飾りました。



デビューウィン

堂々の走りで優勝。痛みを堪えて、初めて仕事として乗るプレッシャーに打ち勝って、しっかりとワークスドライバーとしての仕事をこなした土屋。全ての重責から解放された瞬間。



優勝の喜び

ZAP SPEED がこれまでに挙げてきた勝ち星は 144 勝を数えます。

しかし、今回は初めてのオリジナルマシンという事もあり、その初戦を勝利で飾れた事は大きな一歩でした。

今回のレースでお世話になった(株)モンシュシュ様の「堂島ロール」をみんなで頂きました。ただでさえ美味しい堂島ロールですがこの時は格別。生涯忘れない味です。



ZAP SPEED®

東京都豊島区南池袋 3-18-35
OKビル 1F TEL:03-3989-8890
sion@zap-speed.com

第39回 インターナショナル ホッカGT サマースペシャル
西日本F4選手権シリーズ 第5戦
F4

S-10

2010-08-22 12:55
WEATHER: Fine
COURSE: Dry
国際レーシングコース 5.807km

決勝正式結果表

Pos.	No.	Driver	Type	Team/Car	Laps	Total Time	Delay	Gap	Best
1	14	土屋 祐輔	ZAP F108	チーム・リエゾン	10	21'20.583	163.25km/h		2'07.298
2	10	西本 直樹	RD10W	東京R&D 10W 戸田	10	21'24.658	4.075	4.075	2'07.409
3	70	吉田 広樹	MC09	PLANEX☆TeamNaoki☆MC09	10	21'29.338	8.755	4.680	2'08.074
4	27	柴田 隆之介	WEST 006	アストTeamSBT☆イーグル戸田	10	21'34.736	14.153	5.398	2'08.207
5	56	川村 和希	WEST 976	プロジェクトKK マース 戸田 PFC	10	21'38.057	17.474	3.321	2'08.564
6	12	松本 武士	KK-ZS	イントレス・IBRIDA CELL・MYST/KK-ZS	10	21'40.469	19.886	2.412	2'07.874
7	22	木畑 克俊	WEST 096	ユーロマジックJSSキティアップ	10	21'40.933	20.350	0.464	2'08.566
8	63	廣田 秀機	WEST 006	ピカデリーサーカスWEST006イーグルスポーツ	10	21'40.976	20.393	0.043	2'08.275
9	44	塚田 光彦	WEST 056	東海電装・WEST・Sprint・056	10	21'45.030	24.447	4.054	2'08.754
10	2	Kim Dong Eun	WEST 056	INJE AOTOPIA☆056	10	21'56.610	36.027	11.580	2'09.683
11	34	三浦 勝	WEST 006	CMS006	10	21'57.527	36.944	0.917	2'10.017
12	77	DRAGON	RD10W	B-MAX	10	22'04.976	44.393	7.449	2'10.737
13	33	吉本 晶哉	WEST 006	AY-DESIGN 制動屋 006	10	22'05.546	44.963	0.570	2'10.459
14	29	細川 義成	WEST 006	NY☆ES☆TODA	10	22'10.623	50.040	5.077	2'11.058
15	39	高橋 忠克	KKZ-S	高宮商事ミストKKZ-S	10	22'13.943	53.360	3.320	2'11.907
16	*25	片貝 雅幸	WEST 006	イーグルスポーツ アキランド 006戸田	10	22'23.871	1'03.288	9.928	2'09.148
17	31	辻 恵路	WEST 056	Broval.jp☆056	10	22'28.898	1'08.315	5.027	2'10.576
以上 規定周回数完走:									
	13	吉田 基良	RD10W	B-MAX	8	17'51.825	2Laps	2Laps	2'11.908
	11	金子 昌広	WEST 956	ミスト萬店MAXレーシング東名エンジン	3	6'42.240	7Laps	5Laps	2'11.089
	8	下垣 和也	WEST 056	SOUEISHA-056	1	3'24.590	9Laps	2Laps	

開始時刻: 11:50'19
終了時刻: 12:11'39

レース中のベストタイムは No. 14 土屋 祐輔 チーム・リエゾン 2'07.298 4/10 164.22km/h

規定周回数 9

*ペナルティ

No. 25 ドラビング・スル・ペナルティを課した。(2010年鈴鹿サーキット一般競技規則第34条)(スタート違反)による。

計時委員長: Takashi KURIYAMA

競技長: Norio MIYAZAWA

審査委員長: Ryuei SUGIMORI

栗山隆史

宮崎 良典

杉本 隆幸

第39回 インターナショナル ホッカGT サマースペシャル
西日本F4選手権シリーズ 第5戦
F4

S-4

2010-08-21 15:30
WEATHER: Fine
COURSE: Dry
国際レーシングコース 5.807km

公式予選暫定結果表

Pos.	No.	Driver	Type	Team	Time	Delay	Gap	Lap
1	10	西本 直樹	RD10W	東京R&D 10W 戸田	2'06.588	165.14km/h		4/5
2	14	土屋 祐輔	ZAP F108	チーム・リエゾン	2'06.761	0.173	0.173	4/6
3	70	吉田 広樹	MC09	PLANEX★TeamNaoki★MC09	2'06.940	0.352	0.179	4/5
4	12	松本 武士	KK-ZS	エントレス・IBRIDA CELL・MYST/KK-ZS	2'07.275	0.687	0.335	5/6
5	56	川村 和希	WEST 976	プロジェクトKK マース 戸田 PFC	2'07.294	0.706	0.019	3/4
6	27	柴田 隆之介	WEST 006	7ストTeamSBT★イーグル/戸田	2'07.576	0.988	0.282	4/5
7	33	吉本 晶哉	WEST 006	AY→DESIGN 制動屋 006	2'08.069	1.481	0.493	7/7
8	25	片貝 雅幸	WEST 006	イーグルスポーツ アキランド 006戸田	2'08.200	1.612	0.131	3/4
9	22	木畑 克俊	WEST 096	ユーロマジックJSSキティ777	2'08.255	1.667	0.055	3/5
10	63	廣田 秀機	WEST 006	ピカデリーサーカスWEST006イーグルスポーツ	2'08.394	1.806	0.139	3/4
11	44	塚田 光彦	WEST 056	東海電技・WEST・Sprint・056	2'08.586	1.998	0.192	4/5
12	11	金子 昌広	WEST 956	ミスト萬店MAXレーシング東名エンジン	2'08.697	2.109	0.111	4/5
13	8	下垣 和也	WEST 056	SOUEISHA-056	2'09.257	2.669	0.560	3/4
14	31	辻 恵路	WEST 056	Broval.jp★056	2'09.268	2.680	0.011	6/9
15	2	Kim Dong Eun	WEST 056	INJE AOTOPIA★056	2'09.325	2.737	0.057	6/7
16	77	DRAGON	RD10W	ビーMAX	2'10.014	3.426	0.689	4/5
17	34	三浦 勝	WEST 006	CMS006	2'10.324	3.736	0.310	5/7
18	39	高橋 忠克	KKZ-S	高宮商事ミストKKZ-S	2'11.080	4.492	0.756	4/6
19	13	吉田 基良	RD10W	B-MAX	2'11.995	5.407	0.915	3/4
20	29	細川 義成	WEST 006	NY★ES★TODA	2'12.952	6.364	0.957	4/6

以上予選通過車両:

開始時刻: 14:35'00
終了時刻: 14:55'00

予選通過基準タイム (130%) 2'45.000

計時委員長: Takashi KURIYAMA

競技長: Norio MIYAZAWA

栗山隆史 宮城良太

ペナルティ NO. 2 No. 56 No. 33

3グリッド降格とする。(2010鈴鹿サーキット一般競技規則第37条~2) (ピットレーン速度違反) による。)

審査委員長: Ryuei SUGIMORI

審査委員: Masahiro ISHIDA

杉森隆栄 石田正博